# 理容師の論理学

述語論理入門

#### 問題2.1

 P島の住民の理容師 Aは、自分自身の髭を *剃らないすべての*住民の髭を剃る

・ 理容師 A は自分自身の髭を剃るか?

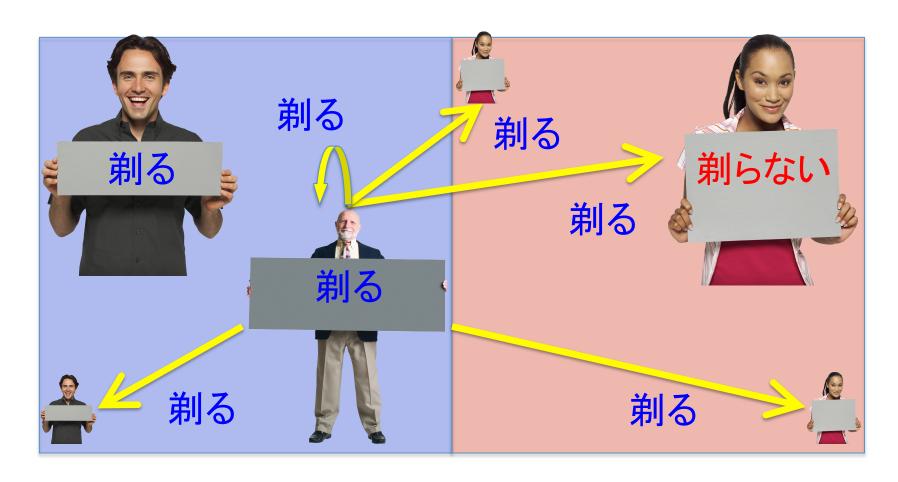
# 解答2.1

- ・ 仮に理容師 A が自分自身の髭を剃らないとすると、彼は「自分自身の髭を剃らないすべての住民」の一人だが、理容師 A はそのようなすべての住民の髭を剃らなければならない
- よって、理容師 A は自分自身の髭を剃る、となり 矛盾
- したがって、理容師 A は自分自身の髭を剃るということになる
  - そして、理容師 A が自分自身の髭を剃ることは条件 に反しない

(*剃る人を剃るのは構わない*)

# 図式化

• P島の状況



### 問題2.2

• Q 島の理容師 B は、自分自身の髭を剃らない住民の髭*だけを* 剃る

 言い換えると、理容師 B は、自分自身の髭を 剃る住民の髭は剃らない

• 理容師 B は自分自身の髭を剃るか?

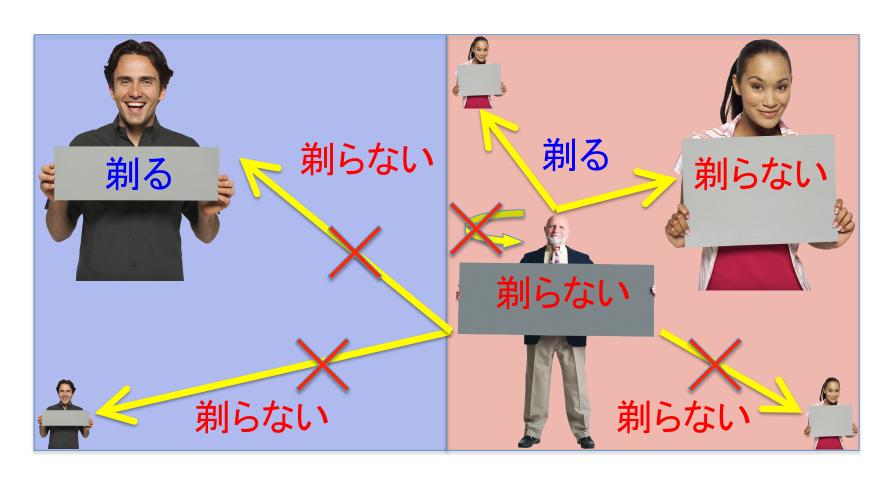
# 解答2.2

- ・ 理容師 B は自分自身の髭を剃る人の髭は決し て剃らない
- それゆえ、仮に理容師 B が自分自身の髭を剃るとすれば、自分自身の髭を剃る人(B 自身)の髭を剃ることになって、これは条件に反する
- したがって、理容師 B は自分自身の髭を剃らないとなる
  - そして、理容師 B が自分自身の髭を剃らないことは 条件に反しない

(*剃らない人を剃らないのは構わない*)

### 図式化

• Q 島の状況



#### 問題2.3

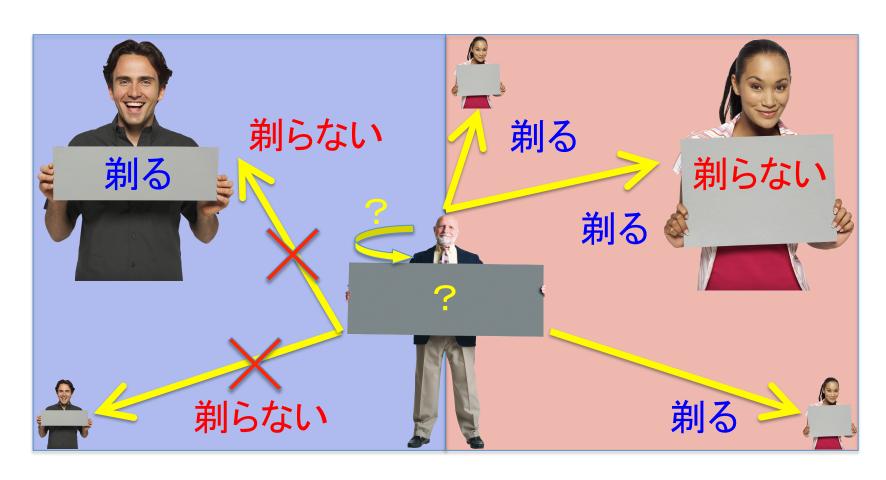
- R島では、自分自身の髭を<u>剃らないすべて</u>の 住民の髭<u>だけを</u>剃る理容師 C がいる、と言われている
- 言い換えると、ある住民が自分自身の髭を剃るならば、理容師 C は彼の髭を剃らず、その住民が自分自身の髭を剃らないならば、理容師 C は彼の髭を剃る
  - (*剃るなら剃らず、剃らないなら剃る*)
- 理容師 C は自分自身の髭を剃るか?

# 解答2.3

- そもそも理容師 C は存在しえない
  - 理容師 C が存在したとすると、彼は自分自身の髭を 剃らないすべての住民の髭を剃るので、彼は自分自 身の髭を剃らなければならない(解答2.1)
  - 一方、彼は自分自身の髭を剃らない人の髭だけを剃るので、彼は自分自身の髭を剃らない(解答2.2)
  - つまり、自分自身の髭を剃らないすべての住民の髭を剃る理容師(A)は存在しうるし、自分自身の髭を剃らない住民の髭だけを剃る別の理容師(B)も存在しうるが、この両方である理容師(C)は存在しえない

# 図式化

• R 島の状況



#### 記号化

- 小文字 x, y などは個体変数
- 大文字 A, B などは定数
- 「x が y を削る」を S(x, y) と表す
- 「x が y を削らない」は ¬ S(x, y) で表せる
- 「すべての」は∀で表す
- •「存在する」は3で表す

#### 問題2.1の記号化

 理容師 A は、自分自身の髭を<u>剃らないすべての</u> 住民の髭を剃る

- 下線部はどんなxでも成立するから、Aでも成立する
  - ¬ S(A, A) ⇒ S(A, A) この式は S(A, A) と同値

### 問題2.2の記号化

 理容師 B は、自分自身の髭を剃らない住民の髭 だけを</u>剃る

```
\forall x (S(B, x) \Rightarrow \neg S(x, x))
(Bがxを剃るならば、xはxを剃らない)
```

下線部はどんなxでも成立するから、Bでも成立する

```
S(B, B) ⇒¬S(B, B)
この式は¬S(B, B) と同値
```

### 問題2.3の記号化

自分自身の髭を<u>剃らないすべて</u>の住民の髭<u>だ</u>
 <u>けを</u>剃る理容師が存在する

下線部はどんなxでも成立するから、yでも成立する

```
(¬S(y, y) ⇒ S(y, y)) ∧ (S(y, y) ⇒ ¬S(y, y))
この式は S(y, y) ∧¬S(y, y) と同値だが、恒偽
```